

令和3年度 学校法人星置学園 いなほガーデン星の子幼稚園
学校関係者評価

2022年3月

1、本園の教育理念・目標

評価者 酒井義信

《教育理念》	
元気な子	元気で明るく、たくましく、生き生き活動できる子
つよい子	やさしい心もち、はい、ありがとう、すみません、わたしがしますと言える心のつよい子
創造する子	よく見、よく聞き、よく話し、個性豊かにのびのび表現、創造する子
《教育目標》	
<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる環境に能動的に働きかける事ができる心と体を育てる。 ・集団生活を通し、他者の自由を認める事ができる心を育てる。 ・自己目標に向かっていける心を育て、自己肯定感を育てる。 ・リスクという危険を体験し、危険予知能力を高める。 	

2、本年度、重点的に取り組む課題

1年を通して、一人一人の遊びを探求し、環境を整え発展させる。

【評価基準】

- A 十分達成されている(おおむね80%以上)
- B ほぼ達成されている(60%~80%くらい)
- C 取り組まれているが成果が十分でない(40%~60%くらい)
- D 取組が不十分である(40%以下)

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
園の保育を理解し、職員が仕事をしやすいように心がけている	A	設定保育から遊び中心の保育への転換が行われて2年を終了するが、どのクラスでも子どもが主体的に遊ぶ姿がみられ、環境の工夫による援助も活発化してきている。また、担任・副担任のチームによる保育も連携がより図られるようになってきた。
保護者のニーズと把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる	B	アンケートから園の保育に満足している保護者は非常に多い。しかし、成果が十分ではないと考える保護者が項目によっては1, 2名おられるので、さらなる情報提供や細やかな対応が必要と考える。
職務向上の為に必要なスキルを身につけ向上している	A	「子どもの意欲や主体性を育む教育をしている」と考える保護者が90%以上もおられることから、日々保育の向上に取り組んでいる先生方の努力の結果だと考える。更なる向上に向けて励んでほしい。
事務以外の職務に対しても積極的に動き、よりよい環境をつくる	A	報告、連絡、相談がスムーズに行われ、職員間の対話が多い。遊び中心の保育では、常に教師が子どもの活動を観察し、それに対応するチームとして環境構成や援助が求められるので、今後も協力的な教師集団を維持してほしい。

評価項目	結果	理由
安全管理（施設、設備、通園など）を日々行っていたか？	B	施設は新しくはないが、よりよい環境のために改築や設備の改善が図られている。また、清潔やより良い環境を保つために、清掃や整頓が十分なされていた。安全管理は、これで良いというということはないので、点検活動を含めさらに力を入れてほしい。

4、2021年度の感想など

二つの園の教員による新体制のスタート、保育の変革が行われ2年が経ちました。遊び中心の保育が定着し、子どもたちは主体的に活動するようになり、生活を楽しんでいます。また、先生方はコロナ禍で保育活動が大変だったことと思います。そんな中でも、子どもが自分の個性を發揮し、楽しそうに遊びや集団での活動に取り組んでいたことは、評価されても良いと思います。自信をもって笑顔で保育にあたっていたらと思います。

5、2022年度に向けての要望など

まだまだコロナ禍が続くことが予想されます。子どもたちの今の時期は一度しかありません。大変でしょうが、可能な限り工夫していろいろな活動を体験させていただきたいと思います。また、子ども、保護者が満足する保育の向上のために、教師集団による協力体制を大切にしていきたいと思います。